

佐賀の未来を見据えて

佐賀県が常に先を見据えて進めてきた数々の取り組み。それが今、芽を出し、花開いています。

世界基準のエンタメアリーナ「SAGAアリーナ」の整備など、県民の皆さんと進めてきた仕掛けが成果となり、令和5年度の一人当たりの県民所得は過去最高額を達成、初めて九州一位になりました。そして今年、県の地価上昇率は、すべての用途で全国一桁順位を記録、大きな好循環が生まれています。

「本物」の地域資源を磨き上げる施策は各地で動き出しています。今年3月、吉野ヶ里遺跡の価値をさらに高める体験型複合施設「スノーピーク グラウンズ 吉野ヶ里」が誕生。6月には海洋プラスチック問題の解決に向けて地域発で世界に発信する「世界海洋プラスチックプランニングセンター」がオープンしました。佐賀県立大学（仮称）の開学や山の博覧会・全国都市緑化フェアの開催が予定されるなど、中長期的な取り組み

も進んでいます。

視線は常に未来へ。オール佐賀・チーム佐賀で、人を大切に、世界に誇れる佐賀県を創っていきましょう。

佐賀さいこう！

佐賀県知事 山口 祥義



人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

県政運営のキーワード

現場

現場の人の想いが実現され、人が現場で輝いていること

ミッション

本来の目的を忘れることなく、何のためにやっているのかという目的意識を常に持って行動すること

プロセス

政策や事業を決定していく場合、県民の声を聴き、そして県民と議論を重ねることで信頼関係をつくること

政策推進の視点



さがデザイン
さがをみかくしくみ

行政にデザインの視点を取り入れ、「見た目をよくすること」だけではなく、地域や事業等が抱える課題を的確に捉えて解決に導くなど、施策を総合的にデザインしています。



さがすたいる
さがらしい、やさしさのカタチ

多様な人々が交流し相互理解を深めることにより、年齢、性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、みんながしぜんに支え合い、心地よく過ごせるやさしさのカタチを広めていきます。

電子版なら
多言語翻訳＆
音声読み上げ
に対応！

より多くの方にお届けできるよう、多言語翻訳や音声読み上げにも対応した「Catalog Pocket(カタポケ)」からも無料で読むことができます。ぜひスマホやタブレットでもお楽しみください！

こちらから
読めます！



目次

03 2026年度 トピックス

05 輝こう！▶ 地域の想いを大切に「本物」の価値を磨く

07 志そう！▶ 志を胸に 骨太な人材の育成

09 育もう！▶ かかわりあう子育て 笑顔あふれる未来

11 支えよう！▶ 支え合い、寄り添う やさしい地域

13 創ろう！▶ 佐賀らしい文化・スポーツ新時代の創造

15 挑もう！▶ 新たな価値を生み 挑戦を続ける産業

19 守ろう！▶ 先だる危機管理 安全・安心のまち

21 交わろう！▶ 動き出す 人とモノをつなぐネットワーク